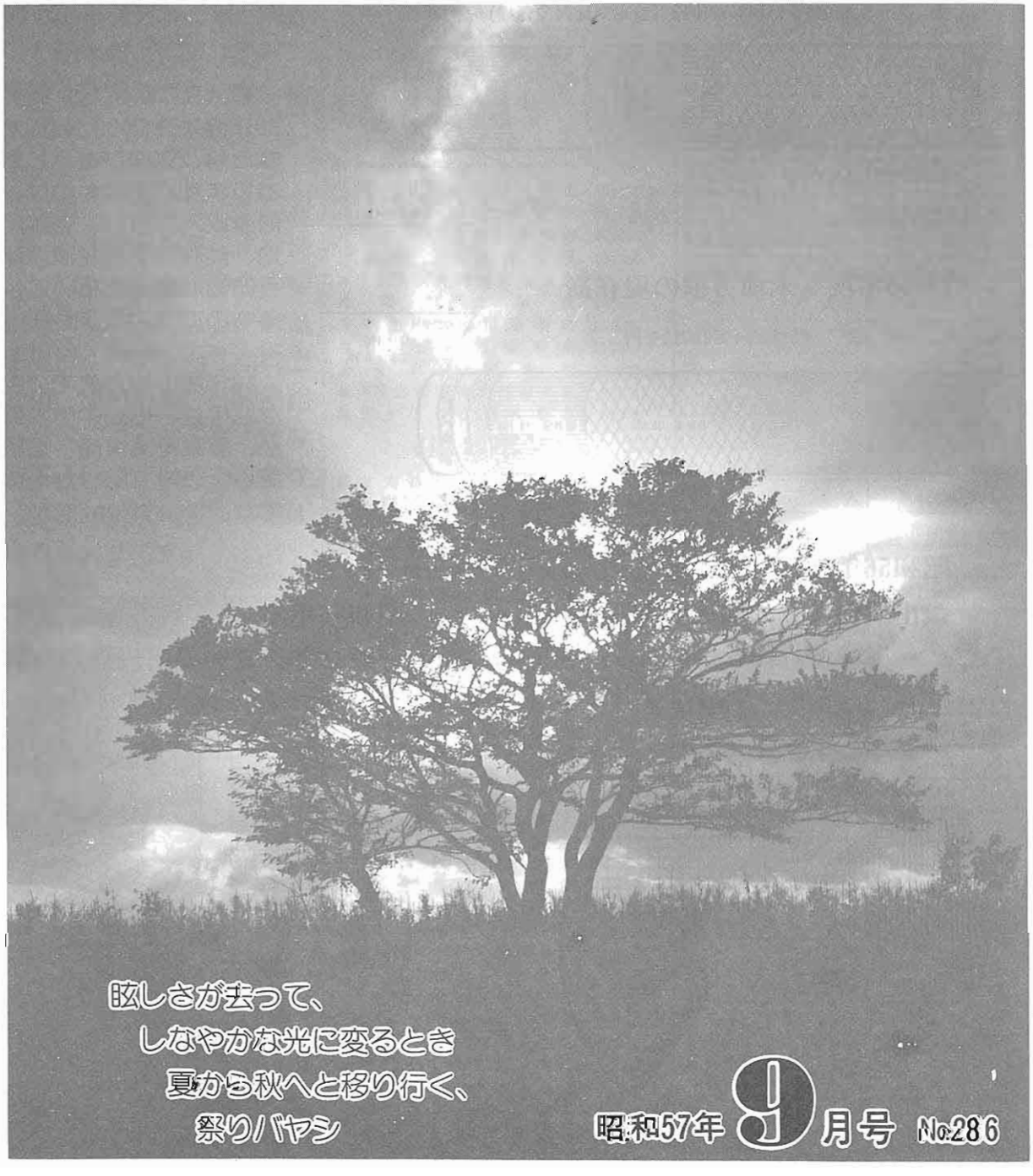
広報 いまかね

教養をたかめ楽しく生活できる平和な町にいたしましょう。(今金町民憲章)



眩しさが去って、
しなやかな光に変るとき
夏から秋へと移り行く、
祭りバヤシ

昭和57年 9月号 No.286

昭和56年度 このように使われました 財政の動向

歳出については、割合を見ると総務費21.8%と大きいが前年度と比較すると、維持補修費22.3%の減、補助費51.6%の増を締めている。

投資的経費では、前年対比、災害復旧事業により、296.1%と大きく、今金中学校屋体新築、神丘6号線道路改良、自給飼料生産向上対策、都市計画田代線街路事業等によるものが大きなウエートを示しております。

昭和56年度の主な事業は次のとおりです。

〈補助事業〉

	千円
今金中学校屋体新築事業	212,550
今金中学校武道場新築事業	51,244
神丘6線線道路改良事業	140,035
自給飼料生産向上特別対策事業	128,078
都市計画田代線街路事業	115,879
八東橋架換事業	98,931
新農業構造改善事業	93,593
大和団地公営住宅建設事業	79,294
豊田線道路改良舗装事業	56,926
美利河ダム対策事業	34,729
田代・八束防雪柵設置事業	24,110
神丘小学校増築事業	16,950
イマヌエル寿の家新築事業	16,876
地籍調査事業	16,518
今中教員住宅新築事業	14,255
白石線道路舗装事業	11,220
公有林整備事業	11,032
転作経営安定特別対策事業	9,154
除雪トラック購入事業	8,998

〈単独事業〉

第2南線改良舗装事業	15,350
第2幹線支線川整備事業	15,000
美利河住宅団地購入事業	34,158
美利河生活館新築事業	27,423
旧明治跡地用地購入事業	16,000
種川国鉄用地購入事業	14,611
美利河温泉建物購入事業	5,000
神丘畑地帯総合土地改良調査事業	5,640
用途地域計画策定事業	5,500
今小プール改修事業	5,200
今中外構整備事業	9,928
今中屋外施設新築事業	7,900
今中屋体備品購入事業	10,940
旧今金中学校解体事業	4,590
投資教員住宅購入事業	16,438
公住緑団地解体事業	7,586
大和地区排水路事業	4,250
道路台帳整備事業	18,000
季節労務対策事業	3,259

〈道負担金〉

鈴金地区排水対策特別事業	22,000
田代地区農地開発事業	27,060
八束ほ場整備事業	19,552
日進農免道路整備事業	18,745
種川地区排水対策特別事業	7,988
日進開拓地整備道路事業	6,230
花石開拓地整備道路事業	3,750
初田地区農地開発事業	5,429
金原地区農地開発事業	2,974
計	(113,728)

昭和56年度 一般会計歳入決算額

科目	収入済額(千円)	構成比(%)
町税	363,548	8.5
地方譲与税	61,346	1.4
自動車取得税交付金	28,324	0.7
地方交付税	1,522,043	35.5
交通安全対策特別交付金	0	0
分担金及び負担金	52,114	1.2
使用料及び手数料	47,000	1.1
国庫支出金	747,426	17.4
道支出金	337,647	7.9
財産収入	117,362	2.7
寄付金	0	0
繰越金	16,796	0.4
諸収入	606,435	14.1
町債	376,300	8.8
繰入金	15,246	0.3
計	4,291,887	100.0

歳出款別決算額

科目	支出済額(千円)	構成比(%)
議会費	56,300	1.3
総務費	926,511	21.8
民生費	482,256	11.4
衛生費	226,275	5.3
労働費	4,774	0.1
農林水産業費	495,734	11.7
商工費	17,384	0.4
土木費	736,106	17.4
消防費	112,480	2.7
教育費	739,275	17.4
災害復旧費	154,107	3.6
公債費	293,215	6.9
予備費	482	
計	4,244,899	100.0

絆ふかく

今金地区敬老会

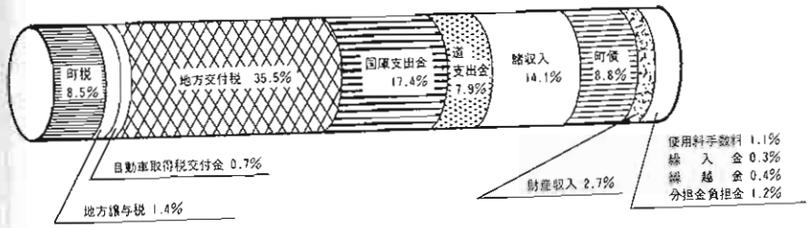
今金婦人会四十五人の暖かいご協力のもとに慰労会が九月五日に開催されました。

七十歳以上の高齢者二百人を招き、今までのご労苦に感謝、増々の長生を願って催されたものです。

町長、議長からのお祝の言葉もあり感激、今金幼稚園児もかけつけ、遊戯を披露、婦人会による歌と踊りがあるなど満足そうにお礼を述べておりました。

昭和56年度 一般会計財源の構成状況

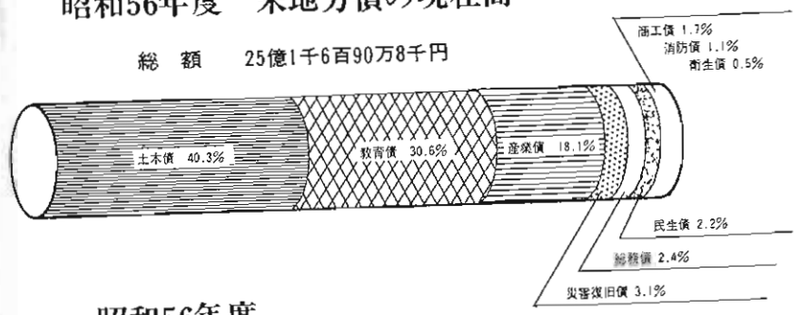
歳　入　42億9千1百88万7千円（前年対比14.2%増）



歳入については、昭和55年度決算額と比較しますと14.2%伸びを示しておりますが主なものは、財産収入であり、道銀用地、美利河ダム建設に伴う町有財産の売払いによるものです。

昭和56年度 未地方債の現在高

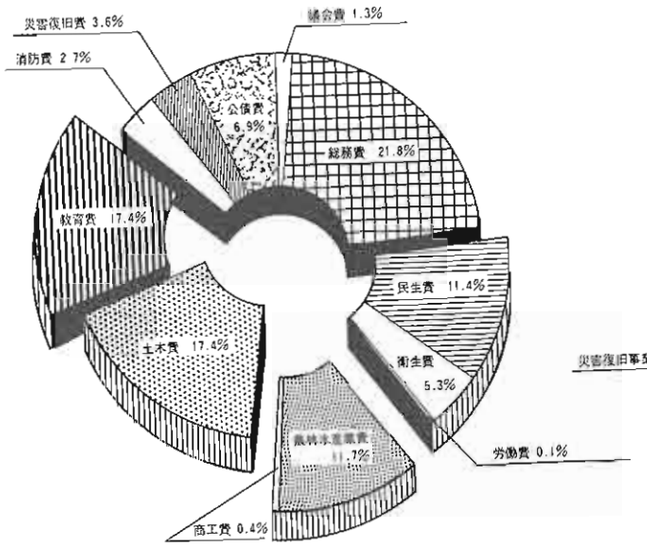
総　額　25億1千6百90万8千円



56年度の地方債での主なものは、今金中学校建設、農業基盤整備、道路橋りょう等に用したものです。

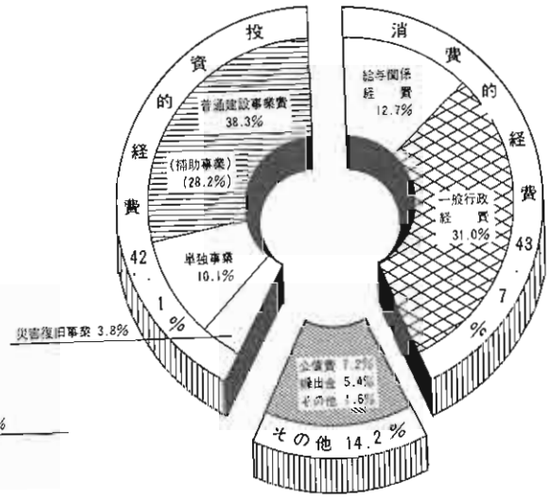
昭和56年度 歳出款別決算の構成内訳

歳　出　42億4千4百89万9千円



昭和56年度 一般会計性質別歳出決算の内訳

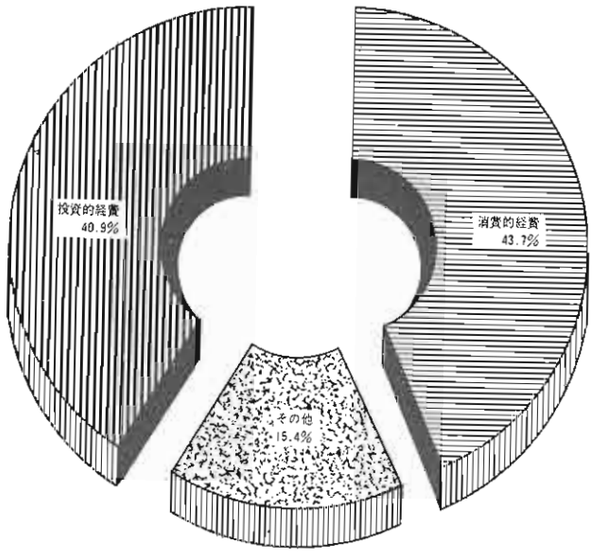
決算額　40億8千3百13万5千円



昭和57年度　一般会計性質別歳出予算の構成

（当初予算額）

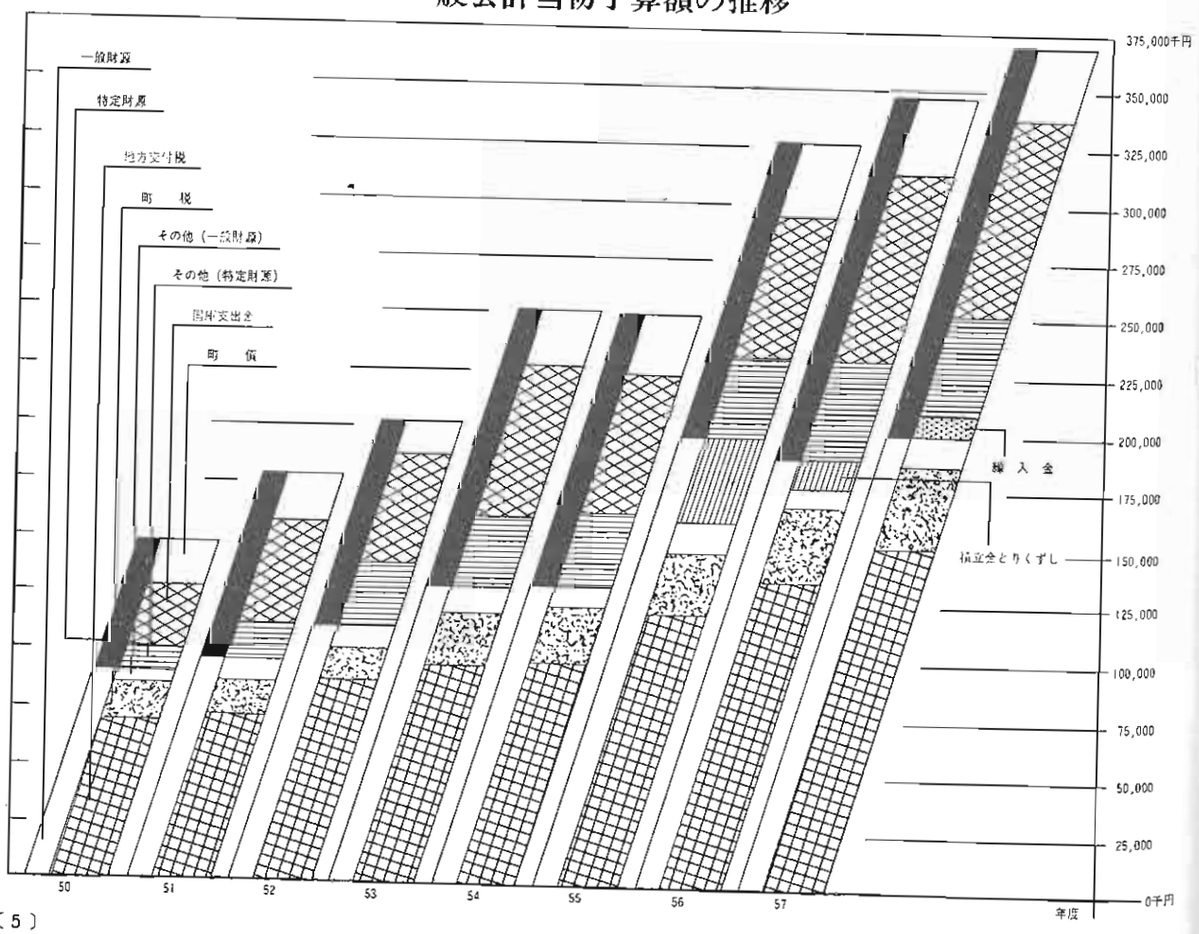
歳出予算額　36億6千1百6万1千円



57年度一般会計の歳出を性質別に分類すると、表のようになりますが、前年度と対比してみますと、消費的経費の内、給与的なものは、3.7%、一般行政的なものは、4.7%との伸び率であります。

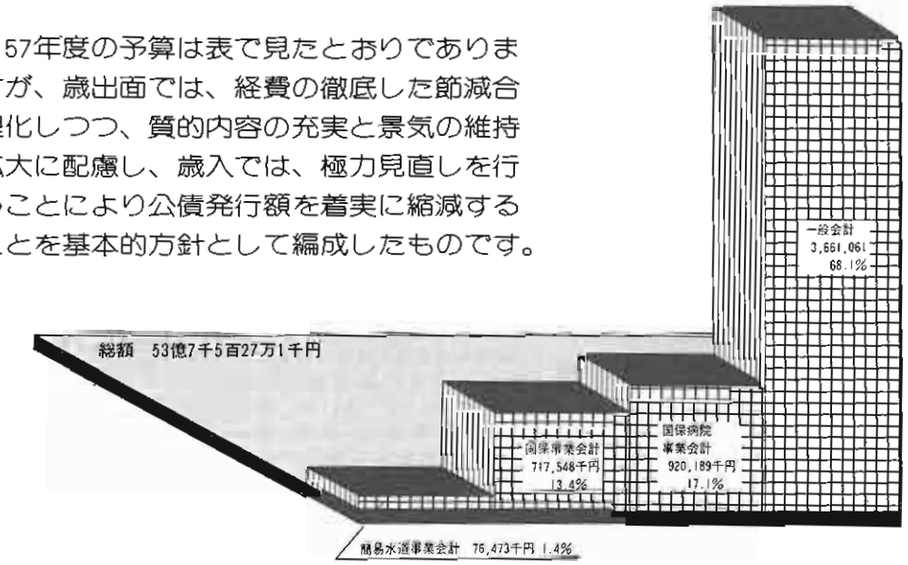
投資的経費は、17.7%、この内単独事業と災害復旧事業がもっとも大きなものであります。

一般会計当初予算額の推移



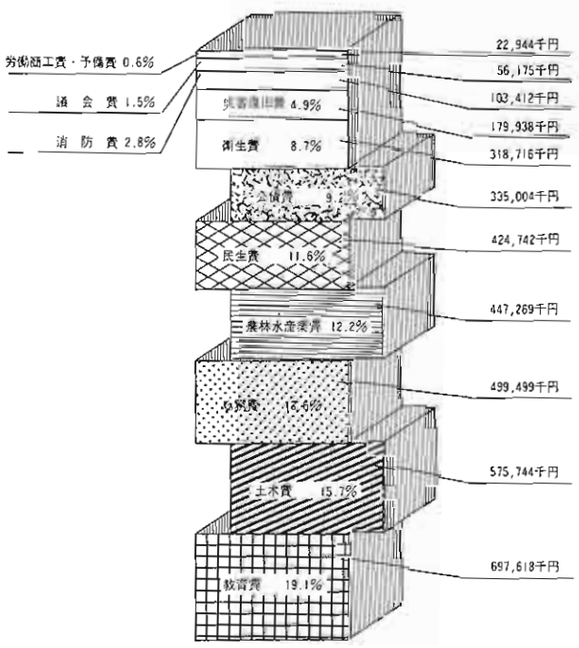
昭和57年度　会計別当初予算額の構成

57年度の予算は表で見たとおりでありますが、歳出面では、経費の徹底した節減合理化しつつ、質的内容の充実と景気の維持拡大に配慮し、歳入では、極力見直しを行うことにより公債発行額を着実に縮減することを基本的方針として編成したものです。



昭和57年度 一般会計歳出予算の内訳

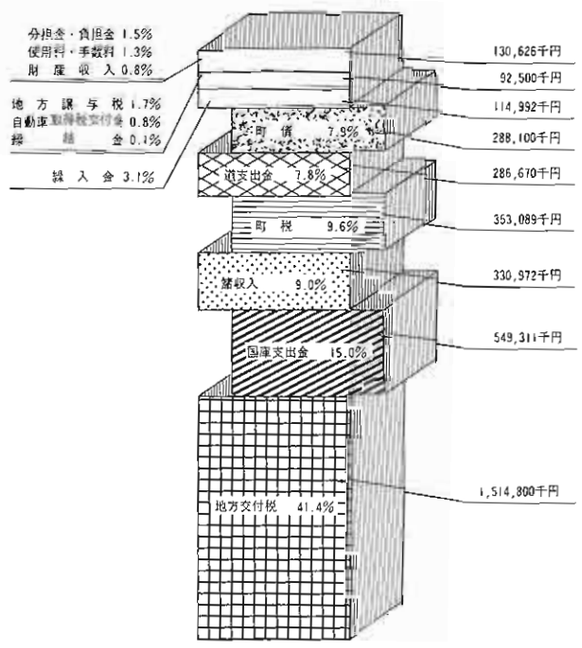
歳入・歳出　36億6千1百6万1千円



57年度の一般会計予算を前年度と比較すると、歳入については、7.7%の伸びで、自動車取得税交付金19.7%の減、補償費等がないことから諸収入23.0%が減となった。

伸びたものは、地方交付税14.3%と若干の伸び率を示しております。

昭和57年度 一般会計歳入予算の内訳



歳出についての大きなものは、衛生費の45.0%、これは今金火葬場の建設によるものであります。

その他、八束橋架換、新農業構造改善事業、美利河小学校建設等の事業に用するものが大きな数字を示しております。

みなさんの負担がくは

税等(一般財源)の町民１人当たりの使いみち　(昭和56年度一般会計)

財源別歳入	決算額	構成比	構成比	１人当たり	１世帯当たり
１，経常的一般財源	1,857,571千円	45.0%	83.2%	208,669円	718,318円
(1) 町税	363,848千円	8.8%	16.3%	40,873円	140,699円
個人町民税	157,009千円	3.8%	7.0%	17,637円	60,715円
(2) 普通地方交付税	1,400,426千円	33.9%	62.7%	157,316円	541,541円円
(3) 地方譲与税等	93,297千円	2.3%	4.2%	10,480円	36,078円
２，臨時的一般財源	374,201千円	9.0%	16.8%	42,036円	144,703円
A 一般財源計	2,231,772千円	54.0%	100.0%	250,705円	863,021円
B 特定財源計	1,898,351千円	46.0%		213,250円	734,088円
歳入合計	4,130,123千円	100.0%		463,955円	1,597,109円
性質別歳出	**決算額**	**構成比**		**１人当たり**	**１世帯当たり**
１，人件費	517,090千円	12.7%		58,087円	199,957円
うち職員給	361,690千円	8.9%		40,630円	139,865円
２，一般行政経費	1,264,327千円	31.0%		142,027円	488,913円
(1) 物件費	412,978千円	10.1%		46,391円	159,698円
(2) 扶助費	178,636千円	4.4%		20,067円	69,078円
(3) 補助費等	594,192千円	14.6%		66,748円	229,773円
(4) 維持補修費	78,521千円	1.9%		8,821円	30,364円
３，投資的経費	1,720,488千円	42.1%		193,270円	665,309円
(1) 普通建設事業	1,566,382千円	38.3%		175,959円	605,716円
補助事業	1,151,578千円	28.2%		129,362円	445,312円
単独事業	414,804千円	10.1%		46,597円	160,404円
(2) 災害復旧事業	154,106千円	3.8%		17,311円	59,593円
４，その他の経費	581,230千円	14.2%		65,292円	224,760円
(1) 公債費	292,956千円	7.2%		32,909円	113,285円
(2) 積立金	18,824千円	0.4%		2,115円	7,279円
(3) 投資出資金貸付金	50,344千円	1.2%		5,655円	19,468円
(4) 繰出金	219,106千円	5.4%		24,613円	84,728円
歳出合計	4,083,135千円	100.0%		458,676円	1,578,939円

〔7〕

町民１人当たり及び１世帯当たりの町民税負担額

区分	昭和56年度 (A)	昭和55年度 (B)	比較 (A－B)	比較 (A／B)
課税額	191,251千円	157,623千円	33,628千円	21.3%
個人町民税	157,523千円	136,374千円	21,149千円	15.5%
法人町民税	33,728千円	21,249千円	12,479千円	58.7%
人口	8,902人	9,210人	△ 308人	△ 3.3%
世帯数	2,586世帯	2,643世帯	△ 57世帯	△ 2.2%
１人当たり負担額	21,484円	17,114円	4,370円	25.5%
個人町民税	17,695円	14,807円	2,888円	19.5%
法人町民税	3,789円	2,307円	1,482円	64.2%
１世帯当たり負担額	73,956円	59,638円	14,318円	24.0%
個人町民税	60,914円	51,598円	9,316円	18.1%
法人町民税	13,042円	8,040円	5,002円	62.2%

注１，課税額は、現年課税分調定額である。
　２，人口及び世帯数は、各年４月１日現在の住民基本台帳人口による。

納税義務者１人当たり町民税負担額

(単位：人，円)

税目	昭和56年度		昭和57年度		比較	
	納税義務者数	１人当たり	納税義務者数	１人当たり	納税義務者数	１人当たり
個人分	2,401	65,607	2,502	54,506	△ 101	11,101
均等割	2,401	1,400	2,502	1,400	△ 101	0
所得割	2,401	64,207	2,502	53,106	△ 101	11,101
法人分	116	290,521	(96)	221,120	20	69,401
法人均等割	117	27,581	116	29,776	1	△ 2,195
法人税割	116	262,940	93	191,344	23	71,596
合計	2,517	75,984	2,598	60,671	81	15,313

注１，納税義務者数は、年度末現在である。
　２，１人当たり算定のための税額は、現年課税分調定額である。

〔6〕

2，経　理　状　況

収入		
科目	決算額	被保険者1人当たり諸費
保険税	178,381千円	36,779円
国庫負担金	451,688	93,132
道支出金	527	109
繰入金(一般会計補助金)	50,000	10,309
繰越金	10,128	2,088
その他の収入	5,007	
合計	695,731	143,450
収支差引残	35,414	7,302
基金等保有額	12,250	
1世帯当たり保険税調定額（現年）		139,307
1人当たり保険税収納額（現年分）		35,947

支出				
科目			決算額	被保険者1人当たりの諸費
総務費			15,486千円	3,193円
保険給付費	療養諸費	療養給付費	537,250	110,773
		療養費	10,986	2,265
		小計	548,236	113,038
		手数料	1,218	251
	高額療養費		77,029	15,882
	助産諸費		4,480	924
	葬祭諸費		490	101
	計		631,453	130,196
保健施設費			1,720	355
その他の支出			11,658	2,404
前年度繰上充用金				
合計			660,317	136,148
1人当たり保険税調定額（現年分）				38,546

3，保険給付状況

（単位：千円）

		件数	費用額			件数	費用額
療養給付	診療費	26,837	767,521	高額療養費		1,458	77,029
	薬剤支給（161）	106	536	その他の保険給付	財産給付	56	4,480
	計	26,943	768,057		育児給付		
療養費	診療費				葬祭給付	49	490
	その他	770	15,694		計	105	4,970
	計	770	15,694	被保険者1人当たり療養諸費費用額			161,598円
療養諸費計		27,713	783,751	被保険者1人当たり療養諸費保険者負担額			112,546円

4，療養諸費費用額負担区分

（単位：円）

	費用額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分	
				他法優先	国保優先
療養の給付	768,057,080	534,860,280	159,095,749	3,970,960	70,130,091
療養費	15,694,085	10,985,853	1,576,135	0	3,132,097
計	783,751,165	545,846,133	160,671,884	3,970,960	73,262,188

5，療養の給付（診療費）内訳

（単位：円）

	件数	日数	点数	費用額	受診率	1件当日数	1件当たり費用額	1人当たり費用額
入院	1,851	44,725	47,591,999	475,919,990	38.2%	24.16	257,115	98,128
入院外	21,515	70,320	24,127,748	241,277,480	443.6	3.27	11,214	49,748
歯科	3,471	9,249	5,032,318	50,323,180	71.6	2.66	14,498	10,376
計	26,837	124,294	76,752,065	767,520,650	553.3	4.63	28,599	158,252

6，高額療養費負担区分

（単位：円）

件数	費用額	保険者負担分	高額療養費	被保険者負担分	他法負担分	
				（　　）	他法優先	国保優先
1,458	446,302,860	312,412,002	77,028,858	15,990,000		40,872,000

目的別歳出の町民1人当たりの使いみち

科目	決算額	構成費	一般財源	構成比	1人当たり	1世帯当たり
議会費	55,529千円	1.4%	55,529千円	2.5%	6,238円	21,473円
総務費	607,312千円	14.9%	536,197千円	24.5%	68,222円	234,846円
民生費	366,715千円	8.9%	147,115千円	6.7%	41,195円	141,808円
衛生費	237,753千円	5.8%	227,382千円	10.4%	26,708円	91,939円
労働費	4,772千円	0.1%	4,487千円	0.2%	536円	1,845円
農林水産業費	568,996千円	13.9%	172,062千円	7.9%	63,918円	220,029円
商工費	22,464千円	0.6%	16,221千円	0.7%	2,523円	8,687円
土木費	920,222千円	22.5%	228,271千円	10.5%	103,373円	355,848円
消防費	112,457千円	2.8%	95,537千円	4.4%	12,633円	43,487円
教育費	739,593千円	18.1%	412,242千円	18.9%	83,082円	285,999円
災害復旧費	154,106千円	3.8%	5,927千円	0.3%	17,311円	59,592円
公債費	293,216千円	7.2%	283,814千円	13.0%	32,938円	113,386円
計	4,083,135千円	100.0%	2,184,784千円	100.0%	458,676円	1,578,939円

昭和56年度国民健康保険事業状況報告書（事業年報）

下記表の数字になりますが、療養給付費等については、 631,453千円に対し、保険税として皆様から徴収しているものは、 178,381千円です。あとは、国で負担 451,688千円で、更に不足分を町が50,000千円を負担しております。

保険税の徴収率については、93.3%ともうちょっとの数字を示しております。

1，一　般　状　況

一部負担割合	30%	その他の給付	助産	育児	葬祭
			80,000円	円	10,000円

	前年度末現在	本年度中増	本年度中減	年度末現在	年間平均	本年度末現在事務職員数	専任	兼任	計
世帯数	1,389	201	232	1,358	1,342				
被保険者数	4,997	763	883	4,877	4,850		3		3

被保険者増減内訳													
本年度中増	転入	社保離脱	生保廃止	出生	その他	計	本年度中減	転出	社保加入	生保開始	死亡	その他	計
	108	558	13	56	28	763		139	639	25	52	28	883
異動届件数	取得	385	喪失	453	氏名変更	9	世帯変更		住所変更	54	世帯主変更	30	計	931

選挙メモ

公職選挙法が改正されました

明るい選挙、きれいな選挙

公職選挙法の一部が改正され、五月十八日から施行されました。改正点のうち二項目を紹介します。

▽立て札、看板の規制、後援団体が政治活動のために使用することができる立札、看板（タテ150cm×ヨコ40cm以内）の数が下表の通りになりました。

▽テテッカーの禁止、候補者の氏名、後援団体の名称を表示するポスターで、事務所、連絡所を表示したり、後援団体の構成員であることを表示したりするものは掲示できません。例えば「○○後援会会員の章」などのステッカー。

これらのステッカーは、直ちに取り除くことが必要です。

なお、その他の改正内容など詳しいことは選挙管理委員会（☎2—0111内線62番）にお問い合せください。

町長の後援団体	
改正前	1後援団体につき 4枚
改正後	すべての後援団体を通じて4枚
町議の後援団体	
改正前	1後援団体につき 4枚
改正後	すべての後援団体を通じて4枚

外国人の方へ

十月一日から外国人登録が変わります

一、**確認申請（登録証明書の切替申請）について**

(1)十六歳未満の方は、確認（切替）の申請をする必要はなくなりますが、十六歳に達するとその日から三十日以内に同申請を行うことになります。なお、出生した時に新規登録をするのはこれまでどおりです。

(2)ただし、十六歳未満の方であっても、すでに甲様式（大人用、手帳型）の登録証明書の交付を受けている場合は、次の(3)と同様の扱いとなります。

(3)十六歳以上の方は、確認（切替）の申請を五年ごとに行うことになりますから、今お持ちの外国人登録証明書の十一頁に記載されている年月日から更に二年を経過する日前三十日以内に確認（切替）の申請を行うことになります。

(4)昭和五十七年九月三十日において確認申請期限を経過している場合は、その申請を行うまで、上記(1)の確認申請不要措置や同(3)の二年延長措置の適用は受けません。

二、**登録証明書の携帯、本人出頭申請、写真提出及び指紋押なつの義務年齢の引き上げについて**

これまで登録証明書の携帯、本人出頭申請、写真提出及び指紋押なつを必要とする年齢は十四歳以上であったのが、今後は十六歳以上となりました。

赤い羽根募金運動が始まりました。みなさんの暖かい思いやりとたすけあいをよびかけております。

昨年度の募金額は一百十七万四千八十八円でした。



広報係ではこんなことを募集しております

⊙広報に対するご希望・ご意見
⊙町内等で話題になっていること
⊙詩、俳句、短歌
⊙広報の表紙写真（町内のものに限る。）

作品点数の多いときは、係の方で選定させていただきます。

社会福祉協議会だより

社会福祉法人**今金町社会福祉協議会**ボランティアセンター預託出し

団体名・個人名	住所	預託内容	寄贈内容	寄贈先	備考
舟木 昇	丹羽	物品のため	¥50,000	豊寿園	
栗山幸雄	東町		¥5,000	特殊ポンテキョン	
種川部落連合会	種川	施設のため	寄贈金（敬老会費）ユニホーム2着代金単価18,3時間	豊寿園	団体
吉田武	中町	〃	¥70,000円	豊寿園	
金丸役員会有志	高島	〃	花だんの草取り、2時間30分 4名	豊寿園	団体
高田静江	八幡町	〃	ミニケーキ 20個	豊寿園	
林コンクリート株式会社	上徳	〃	サカエキ、アロック23個	豊寿園	
山口優	豊栄	〃	用途目的処理業務目録会おしぼりセット1箱	豊寿園	中古品
佐藤力栄	相川町	〃	車椅子 1台	豊寿園	中古品
種川スポーツクラブ	種川	〃	施設の草刈 7名4時間	豊寿園	団体
大倉喜太郎	歌棄町	〃	¥8,000	小白台保育園	受付9／7
岡上	〃	〃	¥3,000	光の里学園	
七飯養護学校PTA	七飯町	〃	バター飴 3箱	光の里学園	団体
御豆連合部落会	神丘	〃	マドンナ用サイダー 1ダース	光の里学園	団体
御丘青年団	神丘	〃	缶ジュース30本	光の里学園	団体
今金農婦人部	八束	〃	菓子 1,5箱	光の里学園	団体
南川洋服店	旭町	〃	マカメ2,000円	光の里学園	
和工建設㈱	今金	〃	ビール 1ダース	光の里学園	
田中理容店	太田町	〃	理髪用椅子 2台	光の里学園	中古品
真屋時計	札幌市	〃	¥3,000 （無人）	光の里学園	北星学園大学女学校
今金町商工会青年部	今金	〃	¥10,000	豊寿園	施設祭りチャリティーバーゲン協金
岡上	〃	〃	¥10,000	光の里学園	
今金老人クラブ	高美町	〃	缶ジュース 60本 ¥10,000	豊寿園	団体
川北勝三	社会福祉協議会		¥3,000	豊寿園	
種川婦人会	種川	施設のため	¥52,800	豊寿園	敬老の日祝いとして70才以上1人300円44名



いってくるぞと、お嫁さんとかたいアクシュ。見送るおくさん。

町民センター 図書館だより 新刊案内

《一般図書》

藤原 てい—流れる星は生きている
芝木 好子—女の肖像
向田 邦子—女の人差し指
吉川 英治—全集（五〇巻）
倉本 聡—北の人名録
柳田 邦男—事実を見る眼
北 杜夫—この父にして
伊藤 桂一—蛍の河
川端 康成—全集（三十一巻）
三枝 和子—隅田川原
戸川猪佐武—田中角栄と政権抗争
阿刀田 高—コーヒーブレーク十一夜
吉行 理恵—井戸の星
中原 まみ—ストレイシープ
宇津木 澄—リカに命をわけて下さい
西 ゆうじ—優しき声の友よ
三田 富子—南十字星
菅原みどり—宝塚エピソード
山本 道子—エリック一、六四〇日の青春
円地 文子—食事のない家（上・下）
田辺 聖子—休暇は終った
〃 —窓を開けますか
黒井 千次—父たちの言い分
秦 恒平—みごもりの湖
石川 達三—独りきりの世界
三浦 哲郎—娘たちの夜べ
丸山 健二—黒い海への訪問者
松本 清張—黒革の手帖（上・下）
井伏 鱒二—海揚り
田辺 聖子—人間ぎらい
倉橋由美子—磁石のない旅
梅原 稜子—渚に風もなくて
畑山 博—海に降る雪
近藤 富枝—なぜ自立なのか
円地 文子—花信
井上千津子—ヘルパー奮戦の記
堀 秀彦—銀の座席
倉本 聡—北の国から（前・後編）
関根 庄一—親と子のふれあい処
〃 世考
池田みち子—生きる
武田 和子—親守り唄
水上 勉—昨日の雪
重原 芳子—透けた耳朶
香取 俊介—裂けた家族
増田みず子—ふたつの春
三好 徹—暁に帰る
大平 昇平—雲の肖像
山田 正紀—風の七人
千田 夏光—母と子の刻印
新津 靖—環境からの発想
源氏 鶏太—振り向いた女
石飛 仁—風の使者ゼノ神父
陳 舜臣—旋風に告げる（上）
檜山美二夫—冬は罠をしかける
戸板 康二—目黒の狂女
佐野 洋—銀色の爪
山田 正紀—あやかし
土居 良一—晶影

◇**図書寄贈ありがとう**

亀谷恵美子さん（八幡町）十六冊、小松紫雄さん（神丘）三冊それぞれ町民センター図書室へ寄贈感謝申し上げます。

冒険じいちゃん

四三八キロ自転車の旅

川崎勝代さん（七十八歳）が普通自転車に乗って八月二十一日出発、雷電海岸を経由、一日二〇〇キロを目標に全道一周を計画、旅立ちましたが手稲でやむなく断念。

帰りは長万部経由、延四三七キロを無事、八月二十四日三泊四日をもって帰町、旅の感想を次のように語っておりました。

持ち物は、寝袋、着替を持ち、宿泊はバス停を利用、朝は五時出発、途中で朝食をとり自転車にまたがり走る。夜は七時と、約十時間以上自転車の上に。

「登りはやはりつらかった。でも下りの気持ちのよかったこと、なんとも言えなかった」と若さあふれる感想を述べておりました。

くすりを安易に使っていませんか？

薬と健康の週間 十月十七日～二十三日

薬は、病気の治療や予防など、私たちの健康を保つうえで、なくてはならない大切なものです。

しかし、用い方を誤ると効果が減少するばかりか思わぬ副作用が現われることもあります。

薬を用いるときは次のような注意を守りましょう。

▽添付してある説明書をよく読み定められた用法、用量を守りましょう。

▽自己判断で何種類もの薬を併用することはお互いの作用を弱めたり強めたりするので危険ですからやめましょう。

▽副作用と思われる症状が現われたらすぐ使用を中止しましょう。

▽薬は高温、湿気、日光を避けて保管し、古い薬はおもいきって捨てましょう。

薬について不明な点がありましたら病院、薬局、薬店などの薬剤師などの専門家に相談しましょう。

（今金保健所）

■営林署からのお知らせ

秋を迎え 入林される方に注意を

美しき季節となり、皆さんがキノコ取り、登山など、野山にでかける機会が多くなります。

例年、夏のあいだ山奥にいた「ヒグマ」が冬眠前のエサを求めて人里近くに出没します。食欲が旺盛で性質も狂暴になっているのが特徴です。

国有林に入られるときは、ヒグマによる不測の事故がないようにするために、次のことを守ってください。

▷最寄りの営林署、担当区事務所、事業所に立寄り入林者名簿に記入しヒグマについての情報などを聞いてから入林しましょう。

▷入林するときは、できるだけ2人以上で行き、一人歩きはやめましょう。

▷昼食後の残飯などは、持ち帰って山に残さないようにしよう。

▷秋は雨が多くなる時期、林道上に土砂が崩落したり欠かいすることがありますので注意しましょう。

⊙以上、危険箇所やヒグマに出合ったりした時は、下山後営林署か担当区事務所にお知らせ願います。

今金営林署

■10月の当番医

3日	北檜山町国保病院	☎④5321
10日	今金町岩間医院	☎②0057
11日	今金町富田医院	☎②0324
17日	今金町国保病院	☎②0221
24日	北檜山町国保病院	☎④5321
31日	瀬棚町橋崎医院	☎④3022

■第29回NHK青年の主張全国コンクール参加者募集について

▷道南地区大会

11月7日　午後1時

NHK函館放送局

▷参加資格

昭和32年1月16日から昭和42年4月1日までに生まれた方

▷課　題

(1)青春、ここに打ち込む

(2)わたしの生き方を変えたもの

(3)いま、日本を考える。

▷参加申し込み

出場希望の方は、自分の主張を選んだ課題（あるいは、課題の主旨に沿ってあなた自身が付けた題名）に沿って、5分以内で発表を終えるようにまとめた原稿（4百字詰原稿用紙4枚程度）を10月22日(金)までに、

〒040 函館市千歳町13番1号

NHK函館放送局「青年の主張」係宛にお送りください。

■郵便局からのお知らせ

簡易保険、郵便年金資金はみなさんの身近で生かされております。払い込まれた保険料の大半を資金として、郵政省では「公共の利益」になるよう資金の運用をしております。

今金町では、現在7億4千万円の融資残高があり、小中学校、公営住宅、集落センター等の建設、道路改良など各種の公共事業に寄与してます。

▷表札の訪問販売に注意

最近「家族表札がなければ配達しない。」又は「郵便局に依頼された。」などのうまい言葉で販売された事件が発生しました。

郵便局ではこのような訪問販売はいたしておりません。家族表札、郵便受箱を希望する方は、局窓口か外務員に直接申し出ください。

住民の動態

	前月対比
人　口	8,869（－6）
男	4,318（＋3）
女	4,551（－9）
世帯数	2,599（－4）

◇おたんじょうおめでとう

加藤木の実	8月9日	（宏信　2女）	大和町
守島久枝	8月11日	（修二　長女）	嘉町
濱野聡美	8月12日	（孝　2女）	八幡町
佐藤友紀	8月13日	（義雄　4男）	トマンケシ
菊地真実	8月14日	（清吉　長女）	日進
村瀬勇気	8月16日	（廣　長男）	八東南原
西村遙香	8月17日	（昭博　2女）	種川宮前
岡林忍	8月19日	（篤　3女）	八東中央
山村潤	8月20日	（光則　2男）	栄町
工藤公司	8月24日	（均　長男）	南町
岡本匠	8月24日	（優　2男）	昭和町
狭間隆央	8月28日	（誠　長男）	商工団地
木島理	8月28日	（強　長男）	白石
伊藤優	9月6日	（政美　長男）	旭町
油谷一史	9月11日	（久　長男）	大和町
藤倉朋美	9月14日	（光義　2女）	南町

◇いつまでもおしあわせに

伊藤政美(旭　町)＝金谷みどり(福島町)

◇おくやみもうしあげます

東條利夫	8月18日	91歳	花石
鈴木直	8月20日	66歳	緑町
舟木ツナ	8月21日	85歳	種川
山口くに	8月30日	78歳	豊受
西舘元昭	8月30日	50歳	種川
水野洋一	8月30日	1歳	金原
川北亀次郎	9月8日	82歳	曙町
石塚敬蔵	9月16日	61歳	奥種川
中村三次郎	9月17日	88歳	田代代
岸忠厚	9月21日	82歳	寒昇

発　行／北海道今金町役場
tel(代)②0111番
編　集／企画課広報係